

実験廃液および廃棄試薬類回収の事前準備について

1. 実験廃液

〈 事前準備 〉

①容器に内容を示す廃液ラベルを貼る

廃液ラベルは実験廃棄物及び廃水等取扱作業部会のホームページより取得し、印刷してご利用ください。

②ビニールテープ等を用いて色区分する

色区分は下記の分類表をご参照ください。複数の分類が可能なものは、全ての色を表示してください。また、色区分に使用する各色テープは市販品をお買い求めください。

〈 分類 〉

色区分	種類	成分・具体例
緑	水銀含有廃液	※但し、有機と無機廃液および単体は分別すること。
灰	フッ素廃液	フッ化水素酸及びフッ素含有無機廃液 ※但し、有機と無機廃液は分別すること。
黒	シアン廃液およびシアンを含む廃液	Cu、Fe、Ni、Ag などの安定なシアン錯化合物水溶液（遷移金属錯体類）、有機シアン化合物水溶液 ※有機は除く（例：アセトニトリルなど）
黄	重金属廃液 1	可能な限り重金属イオン別に分類し、その重金属イオンを明記する。（有害物：ヒ素・セレン・カドミウム・鉛・クロムを除く）
青	重金属廃液 2	有害金属（ヒ素・セレン・カドミウム・鉛・クロム）含有廃液。対象の重金属を明記すること。（※これらの5元素含有廃液の混合は可）
茶	可燃性有機溶媒 2 (高粘性オイル類)	機械油、研磨油、重油、切削油などの廃油、および含水有機溶媒
赤	可燃性有機溶媒 1	ヘキサン、酢酸エチル、エーテル、アセトン、メタノール、エタノール、灯油、軽油、二硫化炭素など
オレンジ	難燃性有機溶媒	クロロホルム、ジクロロメタン、トリクロロエチレン、四塩化炭素、含ハロゲン化合物類、含硫黄化合物、およびベンゼンなど
白	酸・アルカリ廃液 (水溶液)	塩酸、硝酸、硫酸、リン酸、水酸化ナトリウム、アンモニア水、水酸化カリウムなど ※有機物が入っていないこと。

※廃棄固形物も同様の分類です。

2. 廃棄試薬類

〈 事前準備 〉

①内容がわかるようにする

内容が分かるラベルが貼ってあればそのまま良いですが、貼ってないものは廃液ラベルを貼っていただくか、もしくは直接書き込んで内容がわかるようにしてください。分類番号は下記の分類表をご参照ください。

②段ボール箱に入れる

1L 以下の容量の容器に入った試薬は、段ボール箱を準備していただき、その中にお入れください。回収の際は、段ボールのフタをせずにお持ちください。検品後、フタをします。

《注意事項》

- ・ 試薬ビンに入ってもきちんと栓がされていないなど、密封されていない物は透明のやや厚めのポリエチレン製袋で二重に封をし、業者が取り扱いやすいようにしてください。
- ・ 特に、カドミウム・クロム・鉛・水銀・ヒ素・シアン・セレン化合物が含まれる場合には、必ず銘記してください。
- ・ ラベル破損等により内容物が確認できないものは ” 不明 ” と記入してください。（分類番号は不要）
- ・ その他の欄には、例えば名称が商品名で記載されているものについては成分等を記入してください。また、必要事項(爆発の危険性や引火性、毒物や劇物の表示など)があれば記入してください。
- ・ 試薬名は可能な限り日本語で記入し、略号などは使用しないでください。

〈 分類 〉

分類番号	名称
1	無機物一般（但し 3～11 を除く）
2	有機物一般（但し 3～11 を除く）
3	クロム化合物
4	シアン化合物
5	ヒ素化合物
6	水銀化合物

分類番号	名称
7	金属水銀
8	鉛化合物
9	カドミウム化合物
10	酸化剤・還元剤
11	ハロゲン含有有機物

3. 廃棄試薬ビン（平野純薬、上田五兵衛商店から購入したもの限定）

〈 事前準備 〉

①試薬ビンの洗浄及び乾燥

- ・ 該当する試薬ビンは必ず適切に洗浄し、乾燥させてください。付いているラベルは剥がさないでください。キャップは外し、一般ごみで廃棄してください。

②購入先ごとに分ける

- ・ 購入先ごと（平野純薬もしくは上田五兵衛商店）に分けて、保管しておいてください。

〈 分類 〉

	購入先	メーカー
1	平野純薬	ナカライテスク、関東化学、東京化成、シグマ アルドリッチ
2	上田五兵衛商店	和光純薬、東京化成、シグマ アルドリッチ

※上記以外で購入したものは「廃ガラス」として廃棄してください。